

# 緑ネット通信

No.91

緑のネットワーク・まつど

代 表：藤田 隆  
 年会費：1000 円  
 口座番号：00170-9-696174  
 連絡先：高橋盛男 090- 2935- 9444

都市の緑を残すためには、緑を見守り育む人のネットワークが不可欠です。私たちの活動の目的は、みどり特に樹林の保護・保全を願う人やグループと連携しその輪を広げ、豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることです。

寄稿

## 緑の孤島を守る

里やま応援団三樹の会 小島恵美子 新庄美公

三樹の会の方達に、その活動のあゆみを振り返り、思い出を語って頂きました。

里やまボランティア入門講座の三期修了生 11 名が中心になって、とりあえず「三期の会」の名称を使って実活動を開始したのが 2006 年 2 月、この 2 月で 20 年となります。活動の節目に当たり、当初より現在に至るまで活動を続けている 2 名、小島と新庄で、出発時当時の会の歴史を振り返ってみたいと思います。

「森の手入れがしたい」、「里やまでは元気でなくてはだめ」、「森の手入れの知識は」、「自然環境とは」、「子供達に緑の森を残すには」等々の気持ちで整備されてきた三吉の森と立切の森です。両森には、樹高が 20 m を超える大きな木（樹）が多くあります。そこで、「期」の読みを「樹」という漢字に移し「三期」が「三樹（さんき）」となり、『三樹の会』の名称ができ（三代目末広会長より）現在まで、使われてきました。

本会が、対象としている森は、古くから軍馬や駅馬の育成や生産にかかわってきた『中野の牧』にあります。小嶋家所有の三吉の森は、『特別保全樹林金ケ作地区 45 号』の指定を、松丸家の立切の森

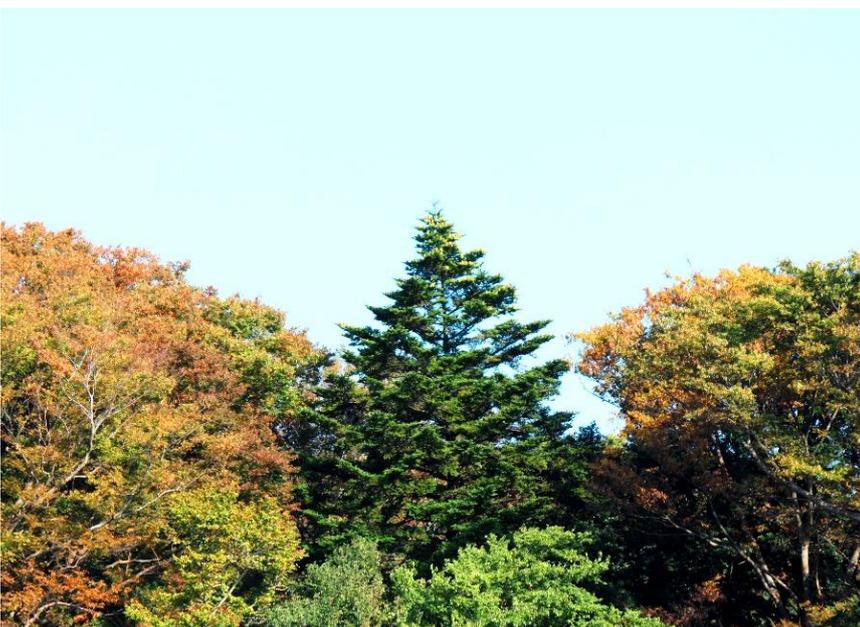
は『金ケ作地区 46 号』の指定を松戸市から受けています。「三吉の森は約 1ha と屋敷周り東側の約 1 ha の計 2 ha」、「立切の森は 0.5 ha」の樹林地です。



ご神木のシラカシ



ご神木のシラカシから続く孟宗竹林



色づき始めたケヤキにモミの樹



立切の森の コナラの紅葉

近年、金ヶ作地域も市街化が進行、一方両森は『緑の孤島』化しつつあります。

会員の高齢化が進む中で、毎月3回の定例活動日には、緑の保全を中心にした活動を行なっています。会では『みどり』を通した市民との交流を深めるために、「みどりと花のフェスティバル」、「オープンフォ

レスト」、「ときわ平さわやか広場」、「レッツ体験受講生受け入れ」や「ミニ門松教室」等の活動に積極的にかかわってきました。

2026年は、4月の時点で会員は47名です。まだまだ、私達2人も頑張りたいです。



観察路の草取り



オープンフォレスト 森めぐりの終点 三吉の森で



ミニ門松教室 ゆいの花公園



Let's 体験 楽しいお昼の流しそうめん

### 金ヶ作の森のおもいで、三期の会のおもいで

三期(樹)の会の活動以前、2001年から関さんの森を育む会の会員を主とする「金ヶ作の森を育む会」が竹林の整備をしていました。当時の竹林は粗大ゴミだらけ。バイクの残骸までありました。それら運び出したときの集合写真、みんなとても良い表情です。(高橋)

当初三期の会の活動拠点が決まるまでのしばらくのあいだ、有志の皆さんが大勢で溜ノ上の森の竹林部分の整備を応援してくれました。荒れていた溜ノ上の竹林部分と散策路がきれいに整備されたのは、当時の三期(樹)の会の皆さんのおかげで、今でも思い出しては感謝しています。(渋谷)



## 松戸のみどり再発見ツアー報告

## 古代から戦国 歴史あるみどりをつないで初詣

1月24日(土)9時30分、JR北小金駅に集まった参加者は24人、朝の気温は5度。改札口では寒かろうと日なたでお待ちいただきました。本土寺までは、北小金駅から一本道の参道が続いていますが、もともとこの参道は常磐線の南側の旧水戸街道と接していました。

本土寺参道は、まてばしい通りを越えるとケヤキ、シラカシの大木が揃って植わっていました。参道途中の東平賀公園で本日の行程と主催者の挨拶をし、緑のネットワーク・まつどと後援しているみどりと花の課スタッフを紹介しました。

この公園は、縄文時代前期から中期頃の市内最大の環状貝塚遺跡であり、10次にわたる調査により、竪穴住居跡のほか、縄文土器、鹿角製腰飾などが出土していることを説明しました。

東平賀公園を後にし、途中、経文を入れた経塚を説明し、本土寺を目指しました。本堂横にあるカイノキは葉が茂っていないため写真で説明しました。五重塔に近づくとムクロジの実が転がっていたのでそれを拾い、水を入れたペットボトルに入れて、攪拌して泡立たせました。「これは何に使うのでしょうか?」と、クイズを出しました。一人だけ「洗濯に使っていたのよ」と即座に答えが返ってきました。ほかの方に尋ねると、ご存知ない方も多くいました。

さらに、ムクロジの実を剥いて黒い実を取り出し、「さて、これは?」と尋ねると「羽子板遊びの羽根の重し」という答え。皆さん、よくご存知です。そして



大谷口歴史公園 土壘をバックに



東平賀公園にて

ムクロジの漢字「無患子」が〈子どもが患わない〉意味であることも伝えました。羽根突きの玉や数珠、お守りとして使われ、邪を破り、幸福が訪れるとの祈りが込められていることも付け加えました。

次に向かった東平賀公園は貝塚、竪穴住居跡も残されていましたが、小学校建設に伴って遺跡はなくなってしまいました。松戸市内は貝塚・遺跡がとても多いと言われていることを伝えると、一様に驚かれた様子でした。

大谷口歴史公園では、水分補給をかねて広場で一時休憩を取りました。空堀、障子堀も説明しながら、登りに入ったら、ゆっくりモードにはなりましたが、全員登り切ることができました。

小金城跡に立ちながら、東葛地域では最大規模の城郭を持ったことなどを説明した後、大勝院に向かいました。境内には市内で最古のイチョウがあり、本堂には大きな大念珠が下がっているのが印象的でした。拝礼の後、慶林寺に向かいました。慶林寺は、小金城主高城胤吉の妻桂林尼を弔うために創建されたもの。本堂を参拝した後、本日の印象を聞いてみました。

「大谷口歴史公園は来てみたかった。」「堀といえば水が張ってあるイメージが強いけど、障子堀や空堀を間近で見ると勉強になった。」「始めてムクロジとセンダンを知りました。」「大谷口歴史公園の上まで登れて良かった」とそれぞれの感想を聞き、無事に終わられたことに感謝しました。

藤田 隆

**冬の活動あれこれ…活動報告などから…**

12月25日、1月17、18日野口さんによる「竹ひごづくり練習会」毎回10名参加。3月21日、22日も。

1月11日 ぷらっとみんなの森（囲いやまの森）

1月16日、23日「木育コーディネーター講座」

1日目受講生26名「木育概論、千葉県の木育、木育コーディネーターの役割」講師：二村和宏氏

2日目受講生25名。「23種の木のおもちゃを紹介、コーディネーターの関わりについて発表、グループワーク」講師：千葉県木育コーディネーター協会のみなさん。



ロングスロープを走るビー玉

1月19日竹炭焼き窯の改修作業（三吉の森）

1月25日 森をあそぼう/子どもっとまつど 受け入れ（甚左衛門の森）



8家族参加。自分で切り出した竹を使って秘密基地づくり(左)、森の宝石(リュウノヒゲの実)さがしなど

1月27日高度なチェーンソー講習会(しんやまの森)

2月11日「第4回 みどりのフォーラム」(松戸市緑推進委員会)開催。今回は「親子体験プログラムを通じたコミュニティ形成」をテーマとした松戸市・千葉大学共同研究の中間発表会と連携。

2月15日ぷらっとみんなの森（囲いやまの森）

2月18日シイタケの駒打ち(野うさぎの森)

・・・総会のお知らせ・・・

令和8年5月5日(火)19時30分～21時

Zoomによるオンライン会議

参加希望の方はご連絡ください。参加者には追ってURLをお知らせします。

～しぜんのコラム 63～

**トラツグミ**

かつて松戸市には、公園緑地課内に「小鳥を呼ぶ係」があった。初夏には、軽井沢の市の林間学校に宿泊しての探鳥会を実施し、私も参加したことがある。今から50年近く前のことだ。

軽井沢では、夜になると森から「ヒィー、ヒィー」という寂しげな声が聞こえてきたことを思い出す。昔は、伝説上の妖怪「鶴(ぬえ)」の声とも言われていたが、その声の主はトラツグミという鳥であった。

トラツグミは、ヒヨドリくらいの大きさで、冬になると山から平地におりてくる。枯葉が積もる林床がすみかだが、虎斑模様が保護色になっているから、見つけるのは困難。「トラダンス」とも呼ばれる独特の動作(頭は動かさずに腰と脚だけをゆらす)で、落ち葉の下のミズバネや昆虫を追い出して食べる。

下の写真は、落ち葉の下のケバエの幼虫を捕まえ、啜えなおしてのみ込むところ。幼虫は落ち葉の下に100匹以上いるから、このトラツグミは1時間以上この場にとどまり、夢中で餌を食べていた。



バエの幼虫を食べるトラツグミ 2020.3.19 21世紀の森と広場

21世紀の森と広場では、今季、斜面林下の小川でトラツグミをよく見かける。この個体は1月23日頃からほぼ毎日確認されている。この原稿を書いている2月10日は健在だが、緑ネット通信が発行されるのは3月中旬ということで、その頃も見られるかどうかはわからない。

(山田純稔)

**★松戸のみどり再発見ツアー（観察学習会）No.71**

**「野うさぎすむまつどの森でみどりを楽しむ」**

都市部に残る貴重なみどりを散策し、ゆっくり森体験を楽しんでみませんか

このツアーは5月開催「オープンフォレスト in 松戸」のイベントとして行われます

**4月19日(日)9:30～14:00 (小雨実施) 参加費 300円小学生以下無料 (会員は100円)**

**集合** JR武蔵野線東松戸駅 改札口 9:30 **集合** **持ち物** 飲み物、弁当、敷物、帽子、雨具

**申込み・問合せ**: 4月1日より先着30名 090-4078-3703 (藤田 18時以降) ※歩きやすい服装で